



バスラ日誌（2月2日）

1 私は、毎日7 ARMED BDE の夕会議に参加している。7 ARMED BDEは、ムサンナ、メイサン及びバスラの三県を作戦地域とする実動部隊であり、ムサンナ県で我が自衛隊を支援してくれているAMTGの親部隊である。夕会議では、前日から今までに作戦地域内で起こったこと及び今後の予定等が各隷下部隊及び旅団の幕僚から旅団長に報告される。自衛隊の会議と内容はさほど変わったところはないが、各人将軍の前にもかかわらず、コーヒーは飲むわ、足は組むわ、日本人の私には不思議な光景である。いままで、その会議に参加して2つ印象的なことがあった。一つ目は、各部隊及び幕僚の報告が終わり、幕僚長が「旅団長何かございますか」と確認すると、旅団長は「一点ある。今日は、〇〇の誕生日だ。ハッピーバースデー」といい、そこにいた全員で「ハッピーバースデー トゥーユー」と歌い出したことだった。歌い終わった後、旅団長はおもむろにワインかウィスキーを出して（何でそんなものがあるんだとも思ったが）、「今までありがとう。これからもよろしく。会議終わり」といって会議は終わってしまった。二つ目は、いつものように会議は淡々と進み、旅団長の一言の時間がやってきた。旅団長は静かに「今日我々の仲間を一人失った。」と言われた。皆さんもご存じだと思うが、メイサンBGで戦死された兵士のことだ。幕僚もみんな旅団長の一言一言を黙って聞いていた。この前と同じ会議とは思えない雰囲気だった。この2つの会議から思ったことの1つ目は、戦場にありながらも常に普通を忘れないこと、羽目を外すわけではないが、妙に緊張せず普段の生活も淡々と行うべきだと言うこと、もう1つは、矛盾するようだが、やはり我々は戦場にいることを認識することが必要だと言うことだ。ここ（HQ）にいと、司令部勤務で戦場にいる実感が薄れてしまう。常に警戒心を保持して、自分の身を守る準備をすることが重要であると感じた。 ()

2 班長が無事帰ってきてよかった。一人少ないと業務大変だから。

(班員一同)

3 本日快晴。バスラ4名極めて健康。

()、()、()、()